



【照会先】

島根労働局発表  
平成29年11月30日

労働基準部健康安全課  
課長 鷹中康博  
主任安全専門官 藤原淳一  
TEL 0852-31-1157

## 冬季の積雪・凍結による転倒災害防止について

～ 「STOP！冬季の転倒災害」の取組を徹底します。～

島根労働局（局長 あさのしげみつ 浅野茂充）では、冬季における積雪や路面等の凍結に起因する転倒労働災害を防止するため、以下の取組を徹底します。

### 1 背景

島根県内では、今年1月から2月にかけて積雪や路面等の凍結に起因した休業4日以上  
の労働災害が41件発生しました。このうち、78%に当たる32件は転倒によるもの  
で、特に1月23日に山陰を襲った大雪後に多発しました。

また、鳥取・島根両県では、積雪・凍結に起因する休業4日以上  
の労働災害が78件発生しました。このうち56件（72%）が転倒災害です。

今冬も「島根では雪が降りやすく年末年始にかけて大雪」とする予報もあります。

については、各事業場において早期の取組を進めて転倒災害の防止を図ることが重要  
です。

### 2 取組の内容

- （1）転倒災害の発生状況や、対策をコンパクトに取りまとめた周知用リーフレット（別添）を作成しました。
- （2）（1）のリーフレットを関係行政機関や労働災害防止団体、関係業界団体等へ送付し、周知を要請します。
- （3）島根労働局及び管内労働基準監督署において、監督指導や安全衛生指導等を通じて事業場に対し、対策の取組について周知指導します。
- （4）管内ハローワークにおいて、事業場を訪問する際や事業場担当窓口において、リーフレットを配付し事業場に周知します。

冬季の

# STOP! 転倒災害

## ～ 積雪・凍結による転倒災害の防止 ～

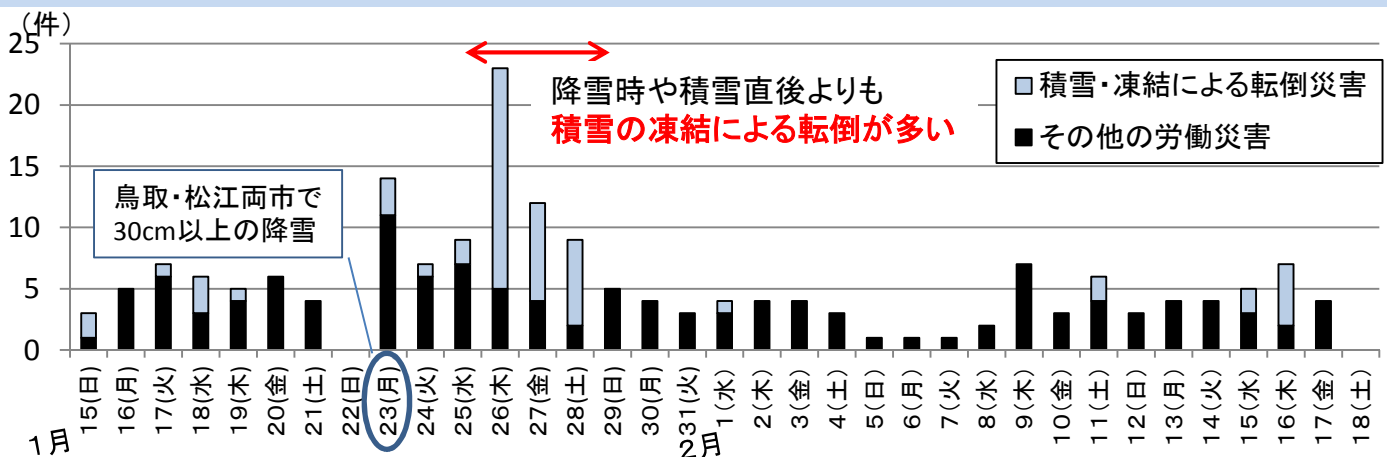
昨冬、鳥取・島根両県では、**積雪・凍結に起因する休業4日以上の労働災害が78件発生**しました。このうち**56件（72%）が転倒災害**で、特に1月23日からの大雪後に多発しました。

今冬も、**山陰では雪が降りやすく、年末年始にかけて大雪**との予報もあります。

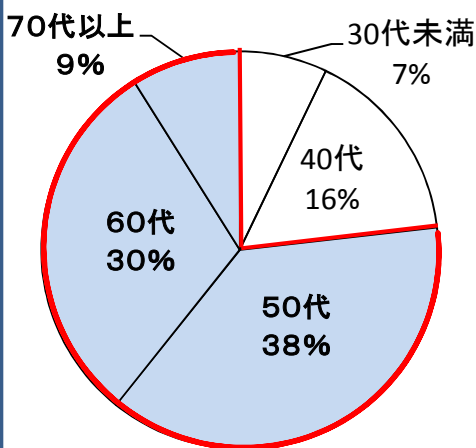
皆様におかれましては、**積雪・凍結に起因する転倒災害の防止に万全を期して**いただきますよう、お願いいたします。

## 積雪・凍結による転倒災害発生状況

鳥取・島根における労働災害発生状況（H29 1/15～2/18・休業4日以上）

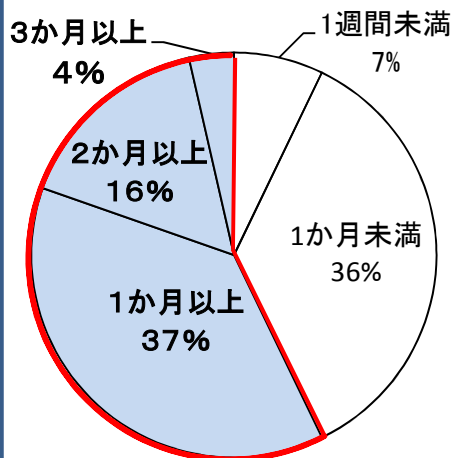


### 被災者の年代



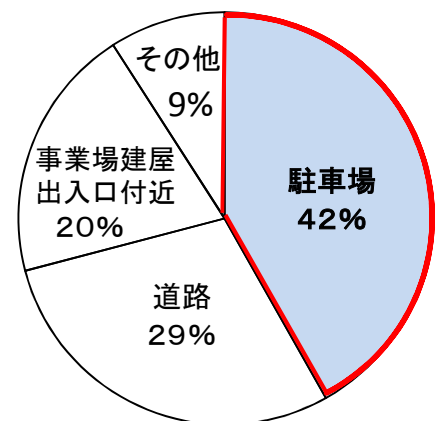
**50歳以上が約8割**  
高齢になるほど転倒リスク大

### 休業見込期間



**1か月以上が約6割**  
被災者の84%が骨折し、休業期間も長期化傾向

### 被災場所



**駐車場が約4割**  
駐車場では歩行中のみならず、車から降りた瞬間の転倒も多発

## 事業場で取り組む転倒対策

今すぐ	降雪・寒波予報時	積雪時
<p><b>☑凍結危険箇所の把握</b> 雪が踏み固められて凍結しやすい駐車場、屋外通路、建物出入口など事業場敷地内の危険箇所を把握しましょう</p> <p><b>☑凍結危険箇所の見える化</b> 把握した危険箇所は表示や危険マップで「見える化」をしましょう</p>	<p><b>☑通勤・帰宅への配慮</b> 労働者が安全に出勤・帰宅できることを優先し、必要に応じて勤務時間を柔軟に変更しましょう</p> <p><b>☑転倒防止マットの設置</b> 建物出入口には雪や水分を拭き取るためのマットを設置しましょう</p>	<p><b>☑危険箇所の凍結防止</b> 把握した事業場敷地・建屋内の危険箇所の除雪、凍結防止対策（融雪剤、砂の散布等）を徹底しましょう</p> <p><b>☑4S（整理・整頓・清掃・清潔）の徹底</b> 建物内出入口付近や通路等の水濡れはすぐに拭きましょう</p>

## 通勤・外出時の転倒対策

### STEP 1 転びやすい場所を知る

徒歩であっても油断は禁物。以下の場所では雪が踏み固められ、特に滑りやすくなります。

#### ☑横断歩道

白線は氷の膜ができやすいので歩かない

#### ☑バスの乗降場所

乗降は手すりにつかまり慎重に



#### ☑マンホール・側溝のふた

きちんと足元を見て回避！

#### ☑駅やお店の出入口付近

建物内外の出入口付近は転倒多発地帯

### STEP 2 転びにくい歩き方を知る

#### ☑滑りにくい靴をはく

革靴、ハイヒールは危険です。  
柔らかいゴム底や、溝の深い靴（※）を着用しましょう。

※溝に雪が詰まると滑るので注意！

#### ☑小さな歩幅でゆっくり歩く

小さな歩幅で、足の裏全体で着地し、ゆっくりと歩きましょう。  
そのためには時間に余裕をもった行動が不可欠です。

#### ☑両手はあける

ポケットに手を入れたり、両手に物を持っていると、バランスを崩しやすく、転倒時に受け身がとれません。手袋を着用すれば転倒時の手の保護にもなります。



ゴム底靴